

第3章 導入機能・施設

3-1 「道の駅」に備える機能・施設

前項で整理したコンセプトや利用者ニーズ調査結果等を踏まえて、「道の駅」に備える機能・施設について検討します。また、既存の関連施設として「周辺施設の機能」を示します。



図 10 「道の駅」の機能と施設

3 - 2 休憩機能

(1) 駐車場施設

すべての利用者にとって、安全でわかりやすく、駐車しやすい駐車場

- ・ 交通量や施設利用に応じた規模の駐車場を確保し、誰もが止めやすい、ゆとりある駐車スペースを確保する。
- ・ 全面バリアフリー（駐車場部と歩道部の段差解消）とする。
- ・ 安全確保のため、小型車と大型車が交錯しないように可能な限り駐車スペースを分離する。
- ・ 障害者等駐車スペースは、施設に近い位置に配置し、雨が降っても濡れずに施設内に入れるように幅や高さにゆとりのある屋根付きとする。
- ・ 安全を確保するため、歩行者の通行スペースを整備する。
- ・ 近年の利用者ニーズに配慮し、電気自動車用充電施設を設置する。
- ・ 二輪利用者や自転車利用者（ツーリング等）の発着点・集合場所として利用しやすいように、十分な専用スペースを設置する。



段差解消イメージ



障害者等駐車スペースイメージ



駐車場内の歩行者通路イメージ



電気自動車用充電施設イメージ



二輪車・自転車置場イメージ

(2) トイレ施設

ユニバーサルデザインに配慮した明るく清潔なトイレ

- ・道路利用者をはじめ、「道の駅」を訪れた誰もが快適に利用できる 24 時間利用可能な清潔なトイレを整備する。
- ・乳幼児がいる子育て世帯、車いす利用者等、誰もが安心して利用できるよう配慮する。
- ・オストメイト対応トイレ※やオムツ替えスペース、ベビーチェア、子ども用トイレ等を備えた多機能トイレ（誰でもトイレ）を整備する。

※オストメイト対応トイレ：人工肛門や人工膀胱の保有者（オストメイト）が排泄物等の処理をしやすい機能を備えたトイレで、腹部に設けた人工的な排泄口（ストーマ）装具の交換や装着、ストーマ周辺皮膚の洗浄、使用済みストーマ装具の廃棄等ができる設備が必要となる。



明るい雰囲気トイレイメージ



多機能トイレイメージ

(3) 休憩施設

ゆっくり休憩できる居心地の良さと利便性を兼ね備えたスペース

- ・多くの来訪者がゆっくりと快適に休憩できるスペースを確保する。
- ・乳幼児がいる子育て世帯が安心して「道の駅」を利用できるよう、授乳・オムツ替え等のできるスペースを設置する。



情報発信コーナーを併設する
休憩スペースイメージ
出典：道の駅季楽里あさひ HP



授乳・オムツ換えのできる
スペースイメージ
出典：道の駅あわじ HP

3 - 3 情報発信機能

(1) 情報発信施設

「道の駅」の情報、道路情報、市内の観光情報、災害情報、
NPO 活動等を紹介するインフォメーション

- ・「道の駅」の情報や、周辺の交通状況等の道路情報を提供する。
- ・日進市の観光プロモーション・イベント情報、行政情報等を提供する。
- ・子育て支援施設の紹介、行政相談、親子向けのイベント等、子育てに関する情報を提供する。
- ・災害情報、ハザードマップ、公的機関の緊急連絡先等、市民の防災意識を向上させるための防災に関する情報を提供する。
- ・友好自治体・姉妹都市を PR する情報を提供する。
- ・市内や友好自治体の農産物の PR、「農」に関する講座やイベント等、農業振興を図るための農業に関する情報を提供する。
- ・市内の NPO 等の団体の活動内容等を提供する。
- ・観光地やまつり等のイベント等、市内の観光情報を提供する。
- ・大学と連携し、大学情報や学生によるイベント情報等を発信する。
- ・無料 Wi-Fi サービスを導入する。



情報発信コーナーのイメージ

【市民活動イメージ】(休憩施設・情報発信施設)

- 子ども連れでも利用しやすい「道の駅」のトイレを利用するついでに、子どもが遊べる場所や親子で参加できるイベント等の情報を入手する
- 道路利用者や市民が災害情報を確認したり、避難場所の位置を調べる等防災について学習する
- 「道の駅」に立ち寄った利用者が、市内や友好自治体の農産物や加工品の情報を見て、農産物直売・物販施設で買い物をする
- 市内の NPO 等の団体が、活動内容等の情報発信を行う
- 「道の駅」に立ち寄った利用者が、休憩をとりながら、市内の観光地やイベント等の情報を入手する
- 「道の駅」と大学が連携し、学生による HP やイベントポスター作成、SNS 等のスキルを活用した情報発信等を行う

3 - 4 地域連携機能

(1) 駐車場施設

子ども連れ等の地域連携機能の施設利用者に配慮したゆとりある駐車場

- ・子ども連れ等の地域連携機能の施設利用者に配慮し、誰もが停めやすい、ゆとりある駐車スペースを確保する。
- ・全面バリアフリー（駐車場部と歩道部の段差解消）とする。
- ・安全確保のため、小型車と大型車（休憩機能の駐車場施設）が交錯しないように駐車スペースを分離するとともに、歩行者の通行スペースを整備する。
- ・障害者等駐車スペースは、施設に近い位置に配置し、雨が降っても濡れずに施設内に入れるように幅や高さにゆとりのある屋根付きとする。

※市民活動イメージについては省略

※地域連携機能とは、「道の駅」において、地域の資源を活かし、地域住民や来訪者等が交流するための機能を指す

(2) トイレ施設

ユニバーサルデザインに配慮した明るく清潔なトイレ

- ・子ども連れ等の地域連携機能の施設利用者に配慮し、「道の駅」を訪れた誰もが快適に利用できる、清潔なトイレを整備する。
- ・乳幼児がいる子育て世帯、車いす利用者等、誰もが安心して利用できるよう配慮する。
- ・オストメイト対応トイレやオムツ替えスペース、ベビーチェア、子ども用トイレ等を備えた多機能トイレ（誰でもトイレ）を整備する。

※市民活動イメージについては省略

(3) 飲食施設（レストラン、軽食コーナー）

ゆっくりくつろげるおしゃれなカフェ・レストランや手軽な軽食コーナー

- ・テーブル席・屋外テラスのある、ゆっくり利用できるカフェ・レストランを整備する。
- ・「道の駅」に一時的に立ち寄った利用者が気軽に利用でき、テイクアウトのできる軽食コーナーを整備する。
- ・できるだけ周辺の農地でとれた野菜を使い、地元の新鮮な食材を提供する。
- ・農学校との連携により、「農」へのふれあいや「食育」の推進につながるメニューを提供する。



カフェ・レストランイメージ
出典：道の駅京丹波 味夢の里 HP



テイクアウト・軽食イメージ

【市民活動イメージ】

- ゆっくりくつろげるおしゃれなレストランで、女性たちがランチやお茶を楽しみながら、友人と交流や親睦を深める
- 子どもたちを「道の駅」の広場・公園で遊ばせ、親はその様子を見守りながら、食事をしたり休憩をとる
- 「道の駅」に立ち寄った利用者が、手軽に軽食を楽しんだり、車内や移動先での食事にテイクアウトをする
- 新規就農者や地元農家等が飲食施設の契約農家となり、レストランに新鮮な野菜や食材を提供する

(4) 農産物直売・物販施設

日進市ならではの品揃えのショップ

- ・ 農業者、農業団体、出荷者が、農産物を販売できる場を整備する。
- ・ 物販施設の一画に、農産物も購入できる空間を用意する。
- ・ 市内専門店や友好自治体（長野県木祖村・三重県志摩市）の人気商品等が手軽に手に入る日進市「道の駅」ならではの物販施設を整備する。



農産物直売所イメージ



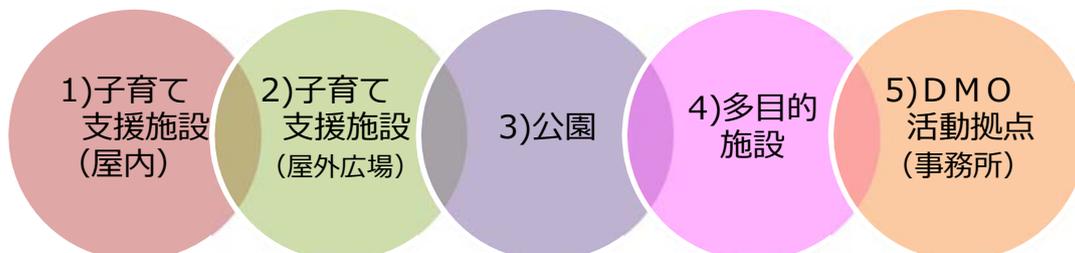
物販施設イメージ

【市民活動イメージ】

- 農業者、農業団体、出荷者の協力により、出品物を使ったお勧めの調理法や伝統食等のレシピを提供する
- 農業者、農業団体、出荷者による農産物や加工品、物販の開発商品を販売する
- 友好自治体の特産品販売やフェアを開催し、友好自治体の文化・観光や旬な情報を PR する

(5) コミュニティ・交流施設

- ・様々な世代の市民がサークル活動・スポーツ活動・会合等、コミュニティ活動の場として交流する拠点施設を整備する
- ・下図の5つの施設で構成される



1) 子育て支援施設 (屋内)

子育て世代が安心して気軽に利用できる交流の場

- ・各年齢層の子どもやその保護者を対象とし、大型のおもちゃ等でのびのびと遊べるプレイルームを整備する (プレイルーム)。
- ・ヨチヨチ歩きの赤ちゃんが安心して過ごせるスペースを設置する (赤ちゃんルーム)。
- ・出張広場の相談コーナーや子育てに関する情報コーナーを設置する (相談コーナー)。
- ・授乳室、離乳食の温めや給湯ができる設備を常設する (授乳室)。



子育て支援施設イメージ

【市民活動イメージ】

- 週末には、子育て世帯がお出かけ先として気軽に立ち寄れる場を提供し、孤立化が懸念される子育て世帯のパパ友、ママ友作りをサポートする
- 交流エリアに隣接して設置された軽食コーナーで、安心して子どもを見守りながら、親同士が交流する
- 平日、特に雨天時、なかなか外出先が見つからない保護者が外出先として利用する
- 育児や家庭の軽い悩み事相談ができる出張広場を定期的で開催する
- 市内大学の学生が、未就学児や小学生向けの親子ふれあいイベントを実施する
- 子育てに関して、大学生がお話会を開催する等学習実践やボランティア活動の場として活用する

2) 子育て支援施設（屋外広場）

子どもたちが遊んだりイベントのできる屋外広場

- ・子どもたちが集まり、ボール遊び等思いっきり遊べるスペースを整備する。
- ・日常の散歩や、市民が参加するイベント・行事の開催等、多目的に利用できる屋外広場を整備する。



子どもたちが遊べる広場イメージ



イベント利用のできる広場イメージ
出典：上毛町 HP（道の駅しんよしみ前芝生広場）

【市民活動イメージ】

- 子どもたちがボール遊びやバドミントン等を行い、休日に家族や友人と一緒に楽しむ
- 子ども食堂の一環として子どもたちが集まって「道の駅」で作った料理を広場で楽しむ
- 市や市民活動団体が、ウォーキングやフリーマーケット、マルシェ等を開催する
- 市内の学校や音楽活動団体が、普段の練習の成果を発表するミニコンサートやステージを開催する

3) 公園

親子で楽しめる身近な公園

- ・ゆっくり休憩できるベンチや木陰等があり、居心地の良い公園をカフェ・レストラン等の近くに整備する。
- ・体を動かして楽しめる子ども向けの遊具・施設を整備する。



休憩スペースのイメージ
出典：茨城県 HP（港公園）



親子がふれあえる施設イメージ



遊具施設イメージ
出典：道の駅いちごの里よしみ HP

【市民活動イメージ】

- 子どもを自由に安全に遊ばせながら、親はカフェ・レストランで見守りつつ、ゆったりとくつろぐ
- 地元住民や市民活動団体が、親子ふれあい教室や講座を開催する

4) 多目的施設

様々な世代や団体が多様な活動を行う屋内施設

- ・多様な市民交流の促進を図り、日進市の良さを地域内外に伝えることができるよう、伝統技術の体験・講習会、屋内イベント等の開催に利用できる多目的室を整備する。
- ・郷土料理づくりやイベント的に開催する子ども食堂、災害時の調理方法学習等として利用できる簡単な調理室を整備する。
- ・様々な利用ができるように、可動式パーテーション(間仕切り)で一つの部屋を分割する等の工夫を行う。



多目的室イメージ



簡単な調理室イメージ

出典：道の駅しもつけ HP

【市民活動イメージ】

- 子育て支援活動のイベントやスタッフの打合せの場として利用する
- 各 NPO 等団体のイベントやスタッフの打合せの場として利用する
- 学生や市民活動団体が協力し、学生・市民・子どもと一緒に避難生活や避難所システムについて学ぶ防災学習が実施される
- 市民が農を学ぶ学習場、農学校の教室として利用する
- 簡単な調理室で、地元の農産物を使った新たな料理方法や郷土料理等を学ぶ場として利用する
- 簡単な調理室で、子ども食堂をイベント的に開催できる場として利用する
- 簡単な調理室で、長期間となる避難生活のための調理方法を学ぶ場として利用する(災害時には調理室として利用可能)
- 地域の高齢者、学生、市民活動団体による昔遊び体験等、伝統文化の体験講座や理科実験教室等の体験学習講座が開催される
- 市内の学校や音楽活動団体が普段の練習の成果を発表するミニコンサートやステージを開催する
- 市民の絵画や写真等文化・芸術活動を展示し、まちかどギャラリーとして利用する
- 学生がゼミ活動や卒業制作等、学習成果の発表場所として利用する
- 市内事業者が商工フェアや見本市を開催し、市内商工業の PR の場として利用する

5) DMO 活動拠点 (事務所)

観光の活動拠点

- ・現在、日進市では DMO[※] の設立に向けた取り組みを進めており、地域一体の魅力的な観光地域づくりを推進するための拠点を整備する。

※DMO：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる組織のこと



DMO 活動拠点 (事務所) のイメージ
出典：(公社) ツーリズムおおいた HP



DMO 活動内容 PR イメージ

【市民活動イメージ】

- DMO 事務所の活動拠点として利用され、観光活動の場としても利用される（必要に応じて多目的施設を利用する）
- DMO が実施する観光活動や活動内容の PR を行う

3 - 5 防災機能

(1) 防災施設

暮らしの安全を支える防災拠点

1) 救助救援場所

- ・発災直後に、迅速かつ大規模な人員を人命救助活動に投入できる規模の拠点を整備する。

2) 防災ヘリポート

- ・災害時に救援ヘリが利用できる防災ヘリポートを設置する。
- ・平常時には、市民の憩いの広場や防災訓練等に活用する。

※総合運動公園の救助救援（自衛隊、警察、消防、ヘリポート）の機能を「道の駅」に移転する



防災ヘリ利用イメージ

出典：愛知県 HP

3) 防災倉庫

- ・市民や道路利用者の非常食等を備蓄しておく防災倉庫を整備する。

4) 耐震性貯水槽

- ・災害時でも水を使うことができるように、耐震性の高い飲料水兼用貯水槽を設置する。

5) その他施設

- ・防災拠点として利用できるようにするため、小型自家発電装置、太陽光発電施設等を設置する。



防災訓練イメージ

【市民活動イメージ】

- 防災倉庫の前や広場で、警察・消防・自衛隊による防災イベントや活動 PR イベントを実施する
- 自治会や地域防災組織等、地域の組織と連携した防災訓練や防災イベントを実施する
- 平常時の防災学習の場として、大学と協力して親子イベントを開催し、子ども向けの救急救命講習会を実施する
- 消防・市内事業者と連携し、子どもたちや学生等の職業体験の場として活用する

3 - 6 その他の機能

(1) その他施設

1) くるりんばすのバス停施設

- ・くるりんばす（市内巡回バス）のバス停を整備する。



バス停イメージ

【市民活動イメージ】

- 車のない世帯や子どもたちが、くるりんばすに乗って気軽に「道の駅」を利用する

2) その他施設

- ・敷地内道路・植栽帯・自転車置場等外構、受水・電気室等の附属施設を整備する。
- ・駐車場等において、市民まつり(産業まつり)やにっしん夢まつりを開催できるように検討する。
- ・災害用のマンホールトイレ等を整備する。



イベント開催イメージ（にっしん夢まつり）

【市民活動イメージ】

- 日進市のまつりやイベントを開催し、市民が憩いの場として利用する
- 利用者がSNS等で情報発信したくなるような見栄えのする場所やおしゃれな飲食店等を戦略的に設置し、たくさんの人たちがSNSで「道の駅」や日進市のことを発信する

3 - 7 周辺施設の機能

(1) 農業体験施設

田園フロンティアパーク構想（基本計画）との連携

1) 市民農園

- ・市民が自家消費的な農業を楽しめる市民農園が整備されている。

本郷農園▶



2) 実習農園

- ・農業従事希望者に対し、農業技術の指導や栽培技術等を伝承（教育訓練）するための実習農園が開設されている。

日進アグリスクール▶



3) 体験農園

- ・市民や都市住民が、年間を通して「農」に触れ合える体験施設が整備されている。

体験農園▶
(JA あいち尾東 農業講座)



【市民活動イメージ】（田園フロンティアパーク構想（基本計画）との連携）

- 当面は田園フロンティアパーク構想（基本計画）の休憩施設、管理施設、防災施設、農学校、レストランの施設について、「道の駅」で整備する施設を利用することとし、田園フロンティアパーク構想（基本計画）との一体化を図る
- 「道の駅」に集まる人に対して、市民農園、農学校、体験農園のPR、参画を促し、田園フロンティアパーク構想（基本計画）の事業を推進させ、新規就農者の育成につなげる

※農業体験施設は「道の駅」に含めないが、既存施設を活用して、「道の駅」と一体的な利用を図る。